

# まちラボプロジェクト演習

## 金属資源回収プロジェクト

### 最終報告



コミュニケーション社会学科3年生9名

# アウトライン

1. 活動の目的
2. 一年間のスケジュール
3. 各活動報告
  - ・オープンキャンパス
  - ・あやめ祭/文京祭
  - ・エコリサイクルフェア
4. データ分析結果
5. 今年の回収台数(常設Boxについて)
6. これからに向けて

# 1.活動の目的

# プロジェクト社会的背景

- ・新興国での資源採掘においては、紛争鉱物、児童労働、野生動物などの問題がたくさんある
- ・日本の都市鉱山は世界有数の資源国に匹敵

# 活動目的

- ・「金属資源回収プロジェクト」を実施し、金属リサイクルの啓発と促進をする



リサイクル  
の普及  
携帯電話等  
の回収



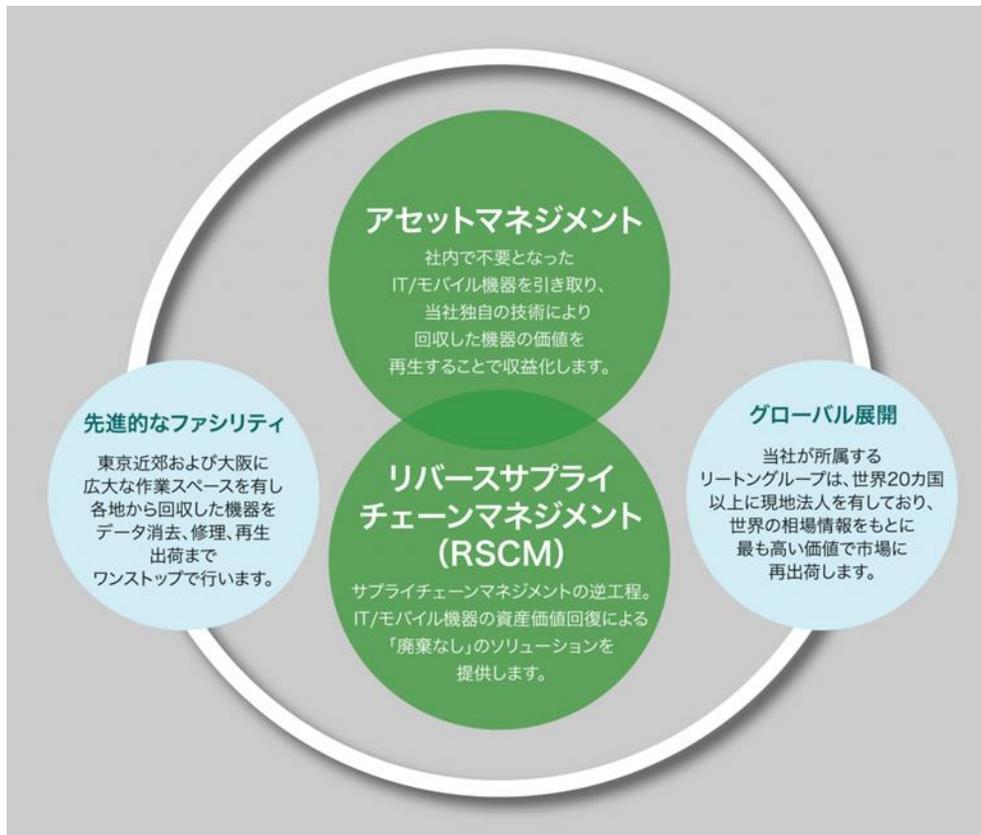
学生への  
アンケート  
現状のリサ  
イクル意識  
等を知るた  
め



どうしたら  
携帯電話が  
集まるか  
リサイクルし  
てくれる人  
を増やすた  
め

# 連携先 リーテック株式会社について

## 軸となる二つのビジネスモデル



- ・アセットマネジメント
- ・リバースサプライチェーンマネジメント

参考サイト:会社概要Re-Teck Co., Ltd.-リーテック株式会社.

リーテックの考え.<https://reteck.co.jp/>

## 2.一年間のスケジュール

# 1年間のスケジュール

月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
企画名							
オープン キャンパス	ポスター 制作	企画実施 振り返り	振り返り	活動なし	活動なし	全体の 振り返り  アンケート 分析  プレゼン 作成  報告書 作成	プレゼン 発表  報告書 作成
文化祭 あやめ祭 文京祭	ポスター 制作	活動なし	ポスター制作 スマホ標本 作成	スマホ標本 作成 アンケート 調査 企画実施	アンケート 分析 振り返り		
エコ リサイクル フェア	企画内容 決定	企画内容 決定	ポスター制作 クイズ作成	ポスター制作 クイズ作成	企画実施		

# 3.各活動報告

# オープンキャンパス 活動報告

# オープンキャンパス概要

- ・場所：文京学院大学本郷キャンパス
- ・開催日：令和元年8月3日(土)、4日(日)、24日(土) 11:00～16:00
- ・主催：文京学院大学
- ・内容：模擬授業、キャンパスツアー

# オープンキャンパスの参加目的

- ・「金属資源回収プロジェクト」の一環で  
リサイクルの知識・意識の向上、リサイクルの促進を目的
  
- ・文化祭の目標として昨年度の回収台数8台を超える目標があり、  
それに向けてのアプローチを高校生中心に行う

# 取り組み

- ・ポスター展示
- ・まちラボの紹介
- ・金属資源回収プロジェクトについての紹介
- ・回収の宣伝

# ブースの様子



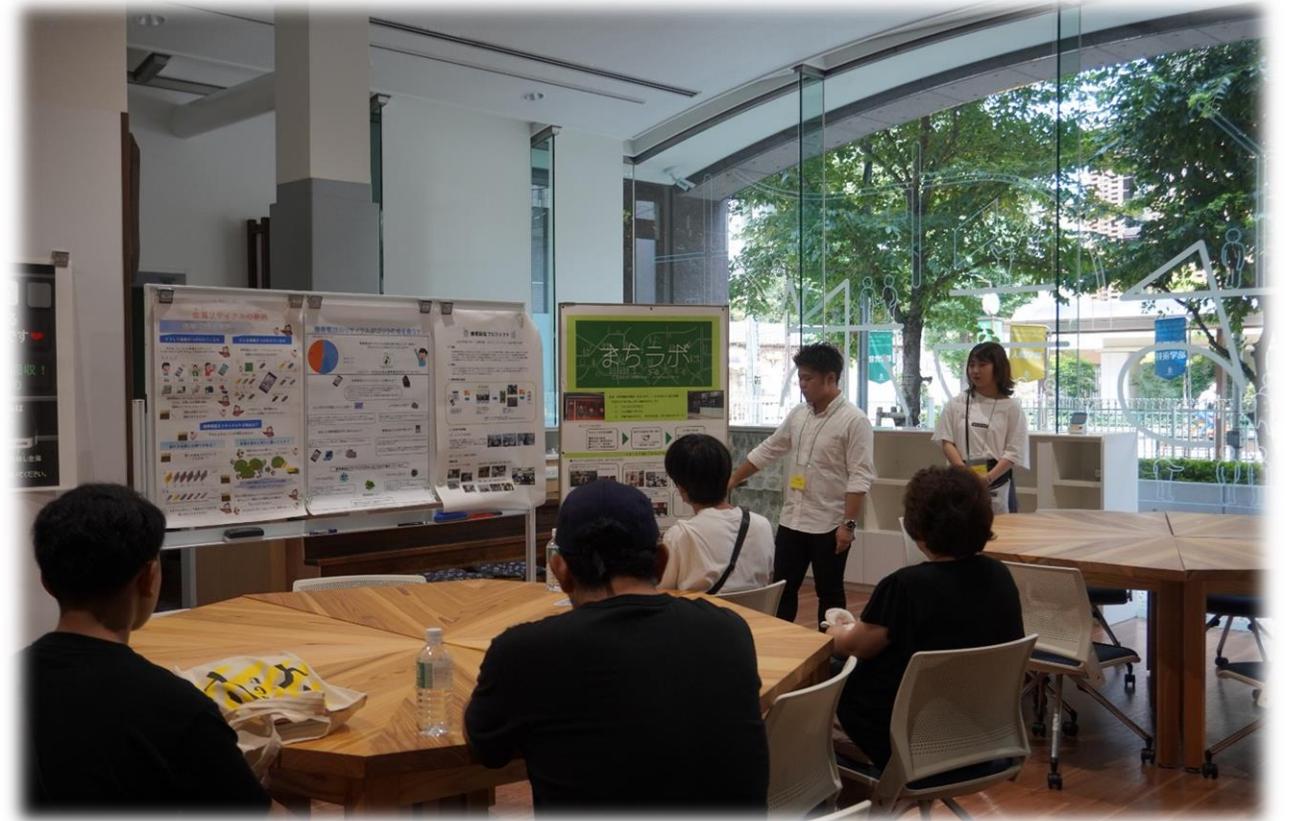
## ポスター展示



## まちラボプロジェクトについての紹介

# 当日の来場人数

- 8月3日(土) 65人程度
- 8月4日(日) 65人程度
- 8月24日(土) 75人程度



一回のキャンパスツアーでは5人～10人程度

# オープンキャンパスを終えて

- ・まちラボの説明やプロジェクトに対してなるほどと頷いて真剣に話を聞いてくださる方が多かった。
- ・個別に来た人達の方が興味を示して沢山頷いて聞いてくれた。

# 文化祭(あやめ祭/文京祭) 活動報告

# あやめ祭/文京祭概要

- 場所：文京学院大学ふじみ野キャンパス・本郷キャンパス
- 開催日：令和元年10月19日(土)、20日(日) 10:00～17:00
- 主催：文京学院大学
- 内容：模擬店やイベント実施(トークショー、ビンゴ大会など)

# 文化祭(あやめ祭/文京祭)の参加目的

- ・学生とリーテック株式会社様との連携で、使用していない携帯電話の回収を行い、リサイクルに対する知識・意識の向上、金属リサイクルの促進を目的とする。また昨年度の回収台数8台を超えることが目標
- ・実際に文化祭で回収ボックスを設置し、回収を促進させること、また、昨年度の実績を踏まえ、回収施策を検討する

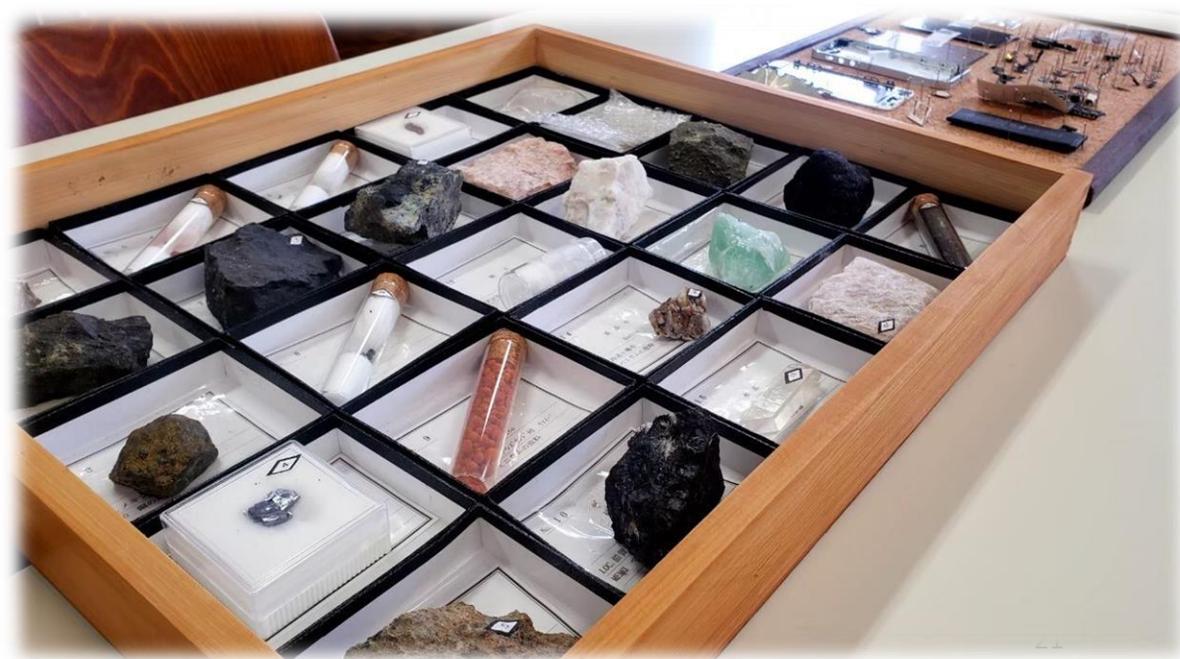
# 文化祭での取り組み

- ・ポスター展示
- ・携帯電話分解模型の展示
- ・鉱石標本の展示
- ・回収BOXの設置

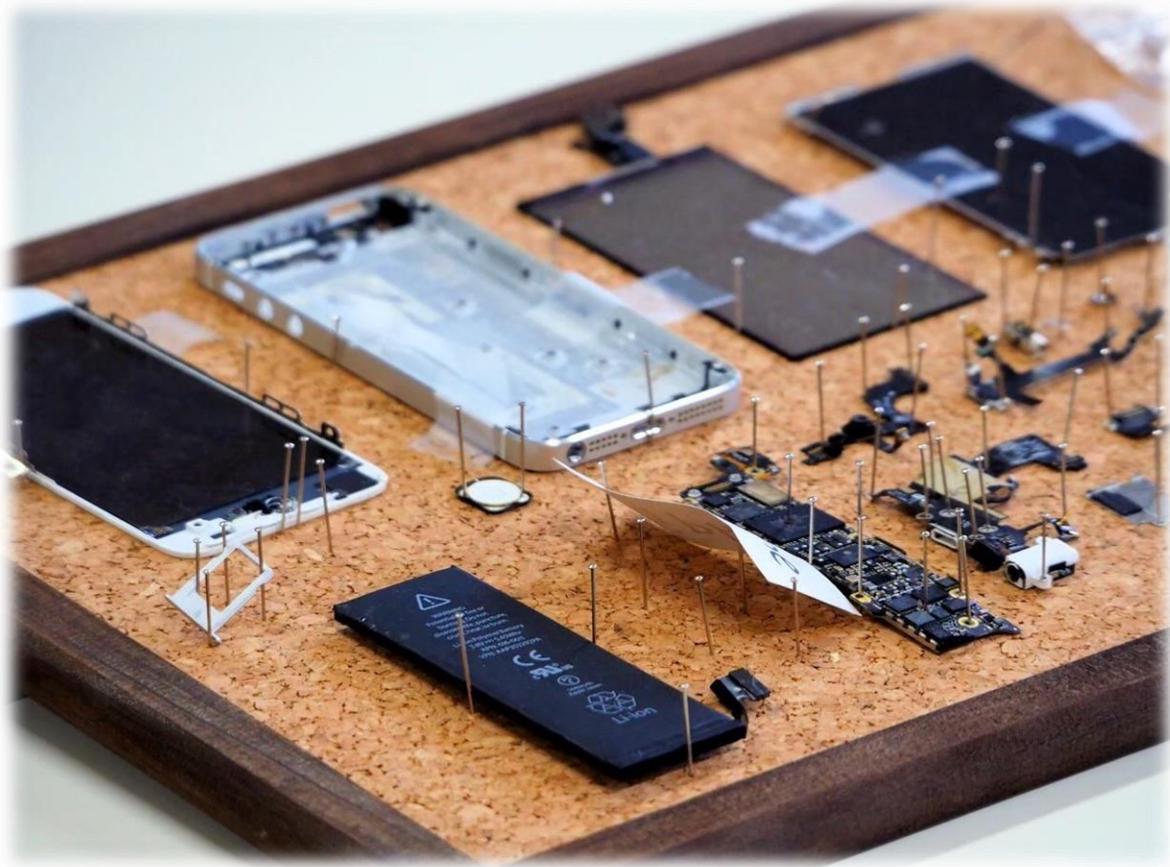
# ブースの様子



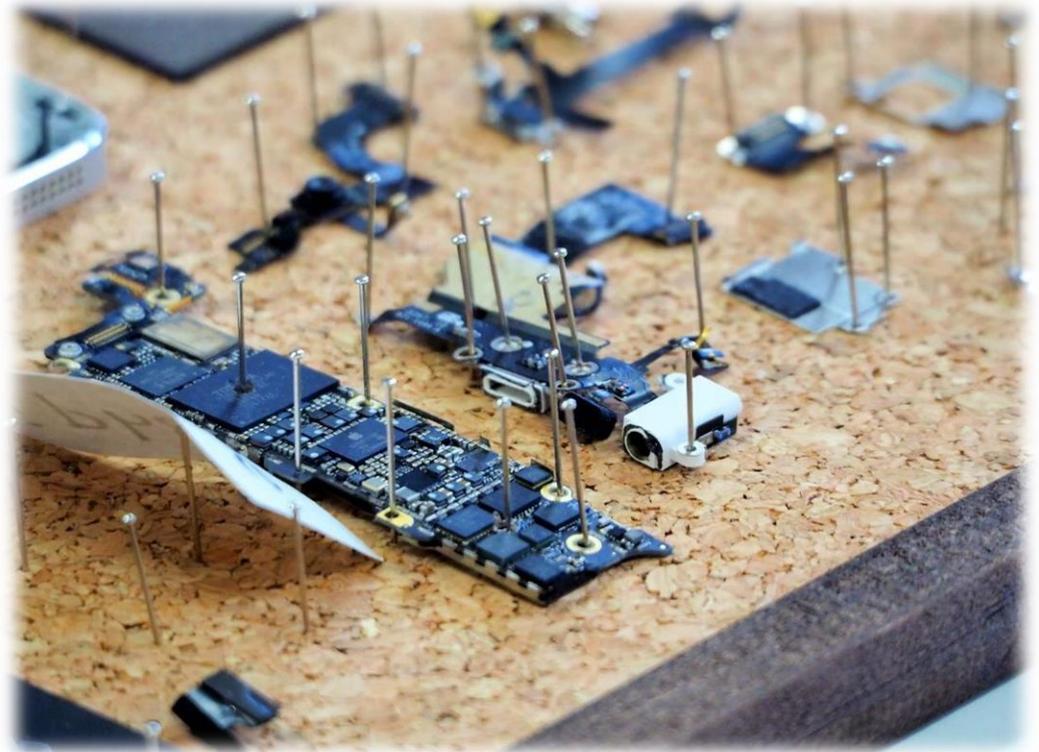
## ポスター展示



## 鉍石標本



## 携帯電話分解模型



# 回収時の携帯電話処理の様子



→ お客様本人が投函

不要IT機器の回収に  
関する同意書の記入

データの保管と  
初期化の確認破砕処理

# 文京祭を終えて

- 来場人数: 11人
- 回収携帯台数: 5台
- B館にする(入試相談毎年200人)
- まちラボカフェみたいにしてフード販売すればよかった
- 手軽に配れるビラがあればよかった

# あやめ祭を終えて

- ・来場人数:15人

- ・回収携帯台数:26台(前年度より約300%増)

- ・来場者にしっかりと説明もでき、翌日持ってきてくれたり方もおり、来場者

が少ない中ではやれたことはやれた

# 文京エコ・リサイクルフェア 活動報告

# 文京エコ・リサイクルフェア概要

・場 所: 東京都文京区 文京シビックセンター 地下2階、1階、3階

・開催日: 令和元年11月30日(土) 午前10時～午後15時

・主 催: 文京エコ・リサイクルフェア実行委員会

・内 容: 「将来キミはリサイクルマン 金属資源のリサイクルについて

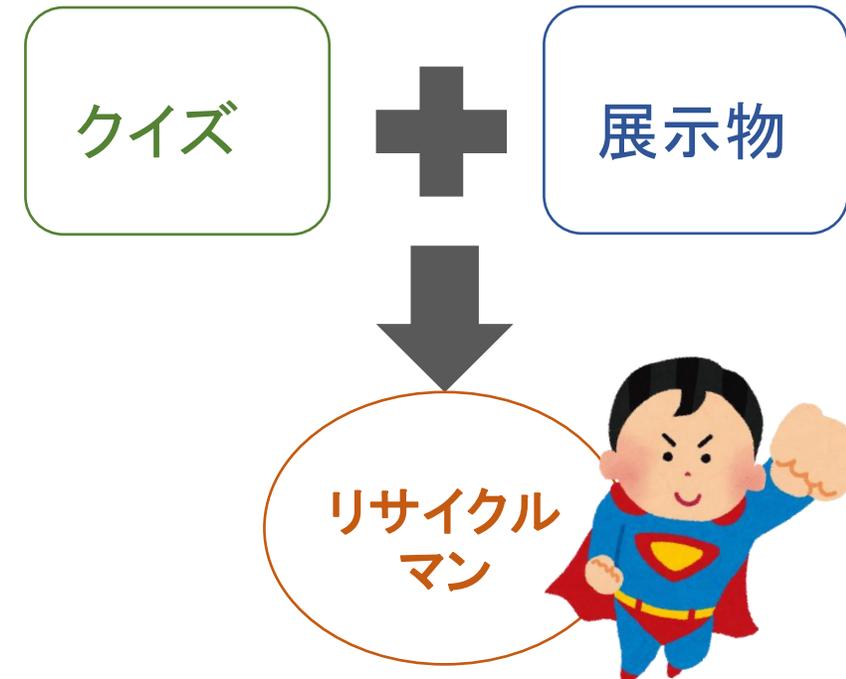
知ろう」をテーマにリサイクルを身近に感じてもらい、様々な楽しいイベントを実施する企画

# エコ・リサイクルフェアの参加目的

- ・まちラボプロジェクトの1つである「金属資源回収プロジェクト」の一環でリサイクルの知識・意識の向上、金属リサイクルの促進を目的とする
- ・今回子どもたちを中心にリサイクルについてや金属資源とは何かについて説明をする

# 取り組み

- ・金属リサイクルについてのポスターの展示
- ・子ども向けにポスターの内容をまとめた紙芝居の展示
- ・上記で学んだ知識定着を狙ったクイズの実施
- ・ポスターについてのパネル型クイズの解説



# 「これで君もリサイクルマン」

ポスターや紙芝居での内容説明



内容を生かしたクイズ



パネル型クイズでの解説



**最後に認定証を授与！**

# 活動の様子



# 当日の様子、取り組みの効果

ブース来場者数 **288** 人



# エコ・リサイクルフェアを終えて

- ・子ども世代を中心にを進めていたが、実際には高齢者の方が多く対応が難しかった
- ・実際に動かせるパネル型クイズがあることで、楽しく知識の定着を促進することができた
- ・内容を説明、聞かれたことに対して答える事で、改めて金属リサイクルについてより深く理解することが出来た

# 4. アンケート分析結果

# アンケート分析結果

- ・アンケート調査目的

文化祭での回収宣伝と大学生のリサイクルに対しての意識調査

昨年度の調査書にプラス $\alpha$ (リサイクルについて)を加え調査実施

→Excelに入力、SPSSで単純集計・クロス集計

- ・調査期間

2019年10月7日(月)、15日(火)

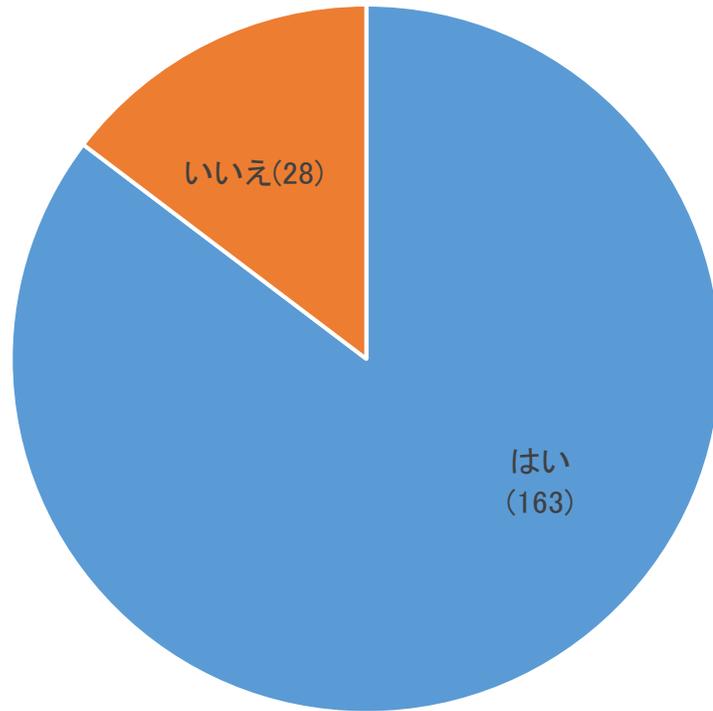
- ・調査対象者

文京学院大学の人間学部・保健医療技術学部・経営学部・外国語学部

1～4年生:373名(地球環境論Ⅱを履修している学生)

# 問Ⅹ 携帯電話にレアメタルや希少金属が含まれていることをご存知ですか？

携帯電話に金属資源が入っているかの認知度

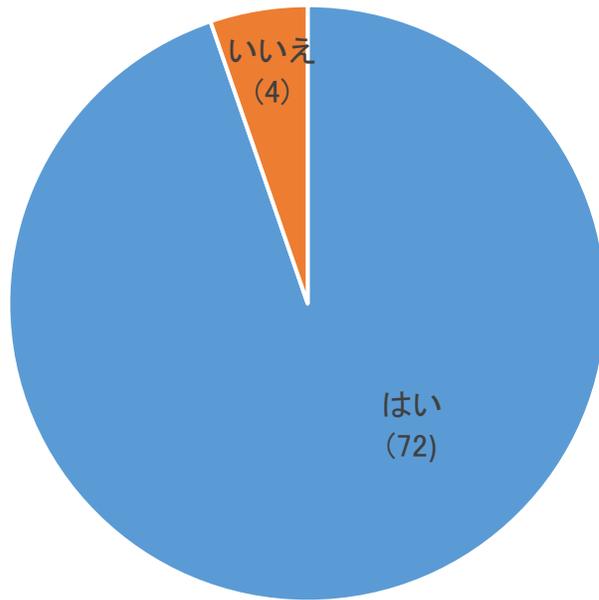


■ はい ■ いいえ

**約8割(85.3%)**が  
携帯電話の中に金属資源が  
あることを認知している

# 問XIIb\_1 機会があったらリサイクルをしてみようと思いますか。

機会があればリサイクルをするか



■ はい ■ いいえ

全体の**約9割(94.7%)**が  
はいと答えた

## 問Ⅻb\_1 機会があったらリサイクルを試してみようと思いますか (自由記述)

### ・「はい」の選んだ理由

捨てるよりリサイクルしたほうが気持ち的に環境にも良い。  
リサイクルをすれば何らかの役に立つかもしれない  
地球環境を守るために少しでも貢献したいから  
人のためになるのならしたい

### ・「いいえ」を選んだ理由

めんどくさい

使えないケータイでもそれは自分にとって大切なものだから  
使えるのであればリサイクルはしたくない

# 意識調査からみえてきた課題

- ・環境系の授業を履修している学生は、携帯電話にレアメタルを含む金属資源を知っていたが、履修以外の大学生や子ども、大人にどう伝えていくか
- ・意識調査をすると携帯回収を含め、リサイクルなどに対して関心がある傾向が強かった。これからリサイクルする環境や場所をどうつくっていくか

# 5. 今年の回収台数 (常設Boxについて)

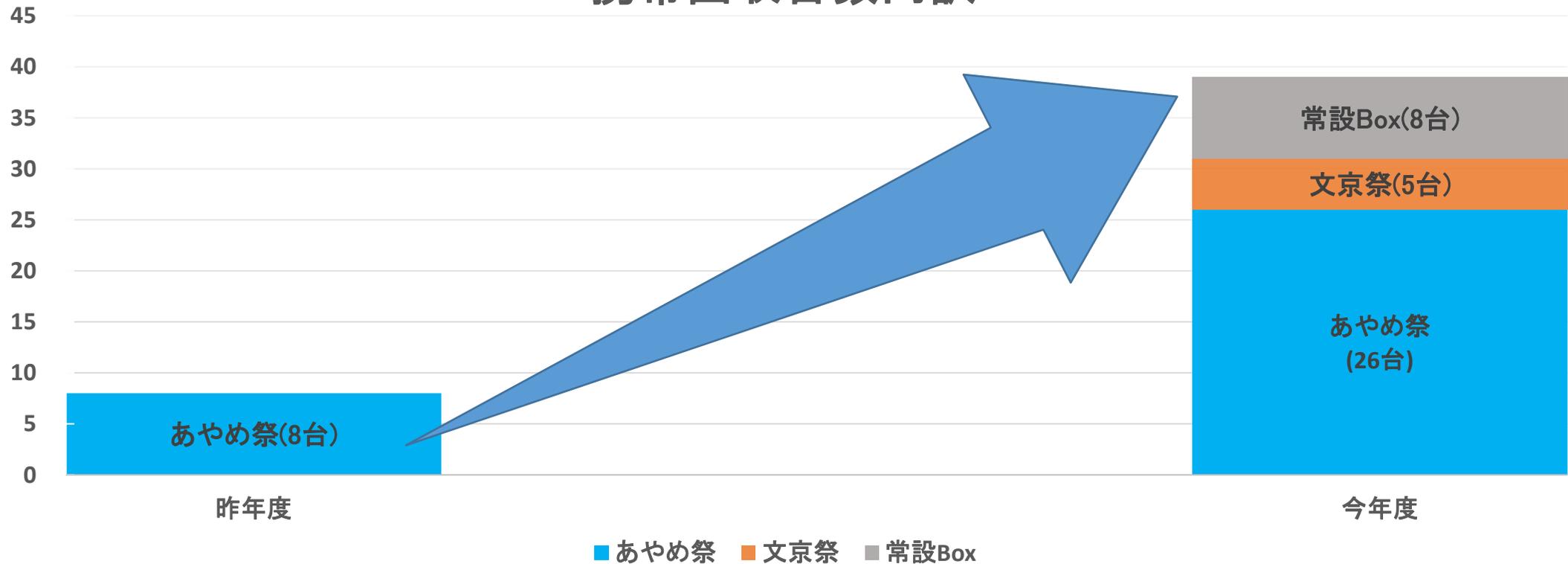
# 今年の回収台数について

- ・今年には様々なイベントで告知をして特にあやめ祭、文京祭で沢山の携帯を集めることができた。
- ・まちラボ本郷では先生の許可をもらい自分達で作った常設BOXを置くことにより更にリサイクルを促した。



# 今年の回収台数 **39台** (去年の約4.8倍)

携帯回収台数内訳



# 回収した携帯電話のゆくえ

収益金は、「NGO法人ACE」に寄付

NGO法人ACEとは

世界中のすべての子どもが権利を守られ、希望を持って安心して暮らせる社会を実現するため、市民と共に行動し、「**児童労働**」の撤廃と予防に取り組む団体

参考サイト:世界の子どもを児童労働から守るNGO ACE(エース), ACE[エース]とは, <http://acejapan.org/about>,(参照 2019-12-25)

# 6.これからに向けて

# これからに向けて

## 個人として

- ・優先順位(今自分のすべきことは何か)を定めていく
- ・タスクを出来るだけ細分化してこなしていきたい
- ・周りの意見を自分なりに噛み砕いてまとめることを意識していこうと考えた

## チームとして

- ・チームワーク、仲間とのコミュニケーションを大切にしていこうと考えた